

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成26年11月14日
【四半期会計期間】	第101期第3四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	日華化学株式会社
【英訳名】	NICCA CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江守 康昌
【本店の所在の場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部門副部門長 澤崎 祥也
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部門副部門長 澤崎 祥也
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第101期 第3四半期連結 累計期間	第100期
会計期間		自平成26年1月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日
売上高	(千円)	29,247,335	33,584,611
経常利益	(千円)	2,218,688	3,280,125
四半期(当期)純利益	(千円)	1,321,693	2,678,117
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	2,081,110	5,459,418
純資産額	(千円)	20,470,261	18,984,899
総資産額	(千円)	40,127,007	40,774,643
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	75.13	152.20
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-
自己資本比率	(%)	44.5	40.1

回次		第101期 第3四半期連結 会計期間
会計期間		自平成26年7月1日 至平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	10.92

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。)は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第100期より、連結決算日を3月31日から12月31日に変更しております。この変更に伴い、第100期については、当社及び3月決算であった連結対象会社は平成25年4月1日から平成25年12月31日までの9ヶ月間、12月決算の連結対象会社は平成25年1月1日から平成25年12月31日までの12ヶ月間を連結する変則的な決算となっております。
5. 第100期は、決算期変更により第3四半期連結財務諸表を作成しておりません。これに伴い、第100期第3四半期連結累計期間及び第100期第3四半期連結会計期間の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
平成26年12月期第3四半期連結累計期間	29,247	2,132	2,218	1,321
(参考) 前年同一期間 1	27,114	1,951	2,173	1,773
調整後増減率 1	7.9%	9.3%	2.1%	25.5%
平成25年12月期第3四半期連結累計期間 2	-	-	-	-

1 (参考) 「前年同一期間」の金額は、当第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)に対応する前年の同一期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)であり、「調整後増減率」はこれに対する当第3四半期連結累計期間の増減率を記載しております。

以下、増減については、この「前年同一期間」との比較で記載しております。

2 当社は、平成25年6月25日に開催されました定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成25年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更し、また、3月決算の連結子会社も12月決算に変更しております。これらに伴い、平成25年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年12月期第3四半期連結累計期間については記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)におけるわが国経済は、円安を背景とした原材料やエネルギー価格の高騰の影響が懸念され、消費税増税や天候不順等により個人消費は弱含みとなったものの、金融緩和をはじめとした政策効果等により景況感に改善の動きが見られたことから、緩やかな回復基調で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進した結果、売上高は292億4千7百万円(前年同一期間比7.9%増)、営業利益は21億3千2百万円(同9.3%増)、経常利益は22億1千8百万円(同2.1%増)、四半期純利益は13億2千1百万円(同25.5%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

	売上高			セグメント利益		
	第3四半期連結累計期間		調整後 増減率 (%)	第3四半期連結累計期間		調整後 増減率 (%)
	(参考) 前期同一期間 (百万円)	26年12月期 第3四半期 (百万円)		(参考) 前期同一期間 (百万円)	26年12月期 第3四半期 (百万円)	
化学品	21,539	23,420	8.7	1,588	1,924	21.2
化粧品	5,574	5,826	4.5	1,308	1,278	2.3
合計	27,114	29,247	7.9	2,896	3,203	10.6

化学品事業

売上高は234億2千万円(同8.7%増)、セグメント利益は19億2千4百万円(同21.2%増)となりました。

海外では、中国において衣料用高機能薬剤が伸張するなど、東南アジア地区において繊維加工用薬剤が好調に推移し、北米においても自動車内装用薬剤等が好調で、売上高は大きく伸張しました。国内では、消費税増税の影響等によりホームクリーニング向け業務用洗剤は低調でしたが、自動車産業の回復に伴い、自動車内装用薬剤等が好調に推移したことに加え、インテリア用高機能薬剤も好調で、売上高は増加しました。

化粧品事業

売上高は58億2千6百万円（同4.5%増）、セグメント利益は12億7千8百万円（同2.3%減）となりました。

美容サロン業界においては、来店サイクルが益々長期化し、業界全体が伸び悩む中、当社主力ブランドであるデミコスメティクスや、イーラル株式会社が堅調に推移し、山田製薬株式会社の通販ブランドである「アンサージュ」や化粧品生産受託事業が高成長した結果、売上高は増加しました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、15億2千5百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,932,000
計	44,932,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,710,000	17,710,000	名古屋証券取引所市場第二部	単元株式数 1,000株
計	17,710,000	17,710,000	-	-

(注)平成26年9月26日開催の取締役会決議により、平成26年11月4日付で単元株式数変更に伴う定款の変更が行われ、単元株式数が1,000株から100株に変更になっております。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年7月1日～平成26年9月30日	-	17,710,000	-	2,898,545	-	3,039,735

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 117,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,487,000	17,487	-
単元未満株式	普通株式 106,000	-	-
発行済株式総数	17,710,000	-	-
総株主の議決権	-	17,487	-

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日華化学株式会社	福井市文京4丁目23番1号	117,000	-	117,000	0.66
計	-	117,000	-	117,000	0.66

(注) 当第3四半期会計期間末現在の自己株式数は、118,667株であります。

2 【役員】の状況

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	名誉会長	江守 幹男	平成26年8月5日

(注) 平成26年8月5日、逝去により退任いたしました。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。
- (2) 当社は、平成25年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成25年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、前第3四半期連結累計期間については記載しておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,248,130	5,293,241
受取手形及び売掛金	4,926,029	8,221,056
商品及び製品	2,469,456	2,614,788
仕掛品	700,415	827,737
原材料及び貯蔵品	2,600,543	2,897,807
その他	942,971	1,098,907
貸倒引当金	58,855	115,383
流動資産合計	21,165,692	20,838,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,072,167	7,031,719
機械装置及び運搬具(純額)	2,735,527	2,509,325
土地	5,814,010	5,887,319
その他(純額)	675,673	596,191
有形固定資産合計	16,297,378	16,024,554
無形固定資産		
のれん	307,811	266,682
その他	587,808	667,997
無形固定資産合計	895,619	934,679
投資その他の資産	1,241,952	1,232,961
固定資産合計	19,608,950	19,288,851
資産合計	40,774,643	40,127,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,407,895	3,685,811
短期借入金	7,016,482	6,441,583
未払法人税等	392,196	350,402
賞与引当金	243,500	544,103
その他	2,458,195	2,130,625
流動負債合計	14,190,270	13,152,525
固定負債		
長期借入金	4,112,443	3,150,349
退職給付に係る負債	2,559,630	2,567,660
その他	927,399	786,211
固定負債合計	7,599,473	6,504,221
負債合計	21,789,743	19,656,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,249	3,040,249
利益剰余金	10,173,714	11,178,722
自己株式	49,677	52,271
株主資本合計	16,062,832	17,065,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	206,675	242,733
為替換算調整勘定	267,779	694,339
退職給付に係る調整累計額	185,235	156,616
その他の包括利益累計額合計	289,219	780,455
少数株主持分	2,632,847	2,624,559
純資産合計	18,984,899	20,470,261
負債純資産合計	40,774,643	40,127,007

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	29,247,335
売上原価	18,833,986
売上総利益	10,413,349
販売費及び一般管理費	8,280,949
営業利益	2,132,400
営業外収益	
受取利息	40,377
受取配当金	43,276
持分法による投資利益	76,911
その他	187,906
営業外収益合計	348,472
営業外費用	
支払利息	72,774
為替差損	42,672
売上割引	61,699
その他	85,038
営業外費用合計	262,184
経常利益	2,218,688
特別利益	
固定資産売却益	184,322
受取保険金	28,272
特別利益合計	212,594
特別損失	
固定資産除却損	1,188
固定資産売却損	102
関係会社株式売却損	9,980
ゴルフ会員権評価損	510
特別功労金	150,000
社葬費用	18,440
特別損失合計	180,220
税金等調整前四半期純利益	2,251,061
法人税等	752,245
少数株主損益調整前四半期純利益	1,498,815
少数株主利益	177,122
四半期純利益	1,321,693

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,498,815
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	36,057
為替換算調整勘定	517,618
退職給付に係る調整額	28,618
その他の包括利益合計	582,295
四半期包括利益	2,081,110
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,812,928
少数株主に係る四半期包括利益	268,181

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
投資その他の資産	5,048千円	5,160千円

2 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)	
	外貨額(千)	円換算額	外貨額(千)	円換算額
徳亜樹脂股フン有限公司	NT\$3,000	10,553千円	NT\$6,750	24,270千円

3 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
受取手形割引高	6,284千円	4,122千円
受取手形裏書譲渡高	20,120	11,933

4 四半期連結会計期間末日満期手形

期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末残高に含まれておりません。

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
受取手形	217,523千円	- 千円
支払手形	87,941	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	
減価償却費	1,276,155千円
のれんの償却額	61,243

(株主資本等関係)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月28日 定時株主総会	普通株式	175,942	10	平成25年12月31日	平成26年3月31日	利益剰余金
平成26年7月31日 取締役会	普通株式	140,743	8	平成26年6月30日	平成26年9月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	23,420,496	5,826,839	29,247,335	29,247,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,002	13,146	14,149	14,149
計	23,421,499	5,839,985	29,261,484	29,261,484
セグメント利益	1,924,943	1,278,531	3,203,475	3,203,475

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,203,475
セグメント間取引消去	7,232
全社費用(注)	1,078,307
四半期連結損益計算書の営業利益	2,132,400

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	75円13銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	1,321,693
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,321,693
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,592

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成26年7月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・140,743千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・8円00銭

(ハ) 支払い請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成26年9月8日

(注) 平成26年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月13日

日華化学株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 近藤 久晴 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日華化学株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日華化学株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。